

西小倉地域小中一貫校整備検討委員会

第7回 学校部会 次第

日 時 令和4年 6月28日(火) 19時
場 所 西小倉中学校 視聴覚室

- 1 開会
- 2 今後のスケジュールについて
- 3 意見交換会について
- 4 西小倉地域小中一貫校計画素案について
- 5 グループワーク
- 6 その他
- 7 閉会

【配付資料】

- ・資料①…(仮称)西小倉地域小中一貫校基本計画素案(配置イメージ(案))
- ・資料②…意見交換会の概要①
- ・資料③…意見交換会の概要②
- ・資料④…今後のスケジュール

第7回 西小倉地域小中一貫校
整備検討委員会【学校部会】資料①

(仮称) 西小倉地域小中一貫校基本計画素案
配置イメージ (案)

宇治市教育委員会
令和4年 6月

1. 敷地の条件、施設の規模

敷地	京都府宇治市伊勢田町遊田7番地の1（現：西小倉中学校敷地）
必要な施設	小中一貫校 校舎（小学校650人、中学校300人、計950人程度） 屋内運動場、25mプール グラウンド
用途地域等	第一種中高層住居専用地域、準防火地域
主な法的規制	建ぺい率60% 容積率200% 第二種高度地区 景観G地区
敷地面積	23,739㎡

※配置イメージ(案)における各種の図面は基本計画素案の内容をより具体的にイメージするために作成したものです。今後、基本計画、基本設計の中で必要な変更を加えていくため、この図面が基本計画となるものではありません。

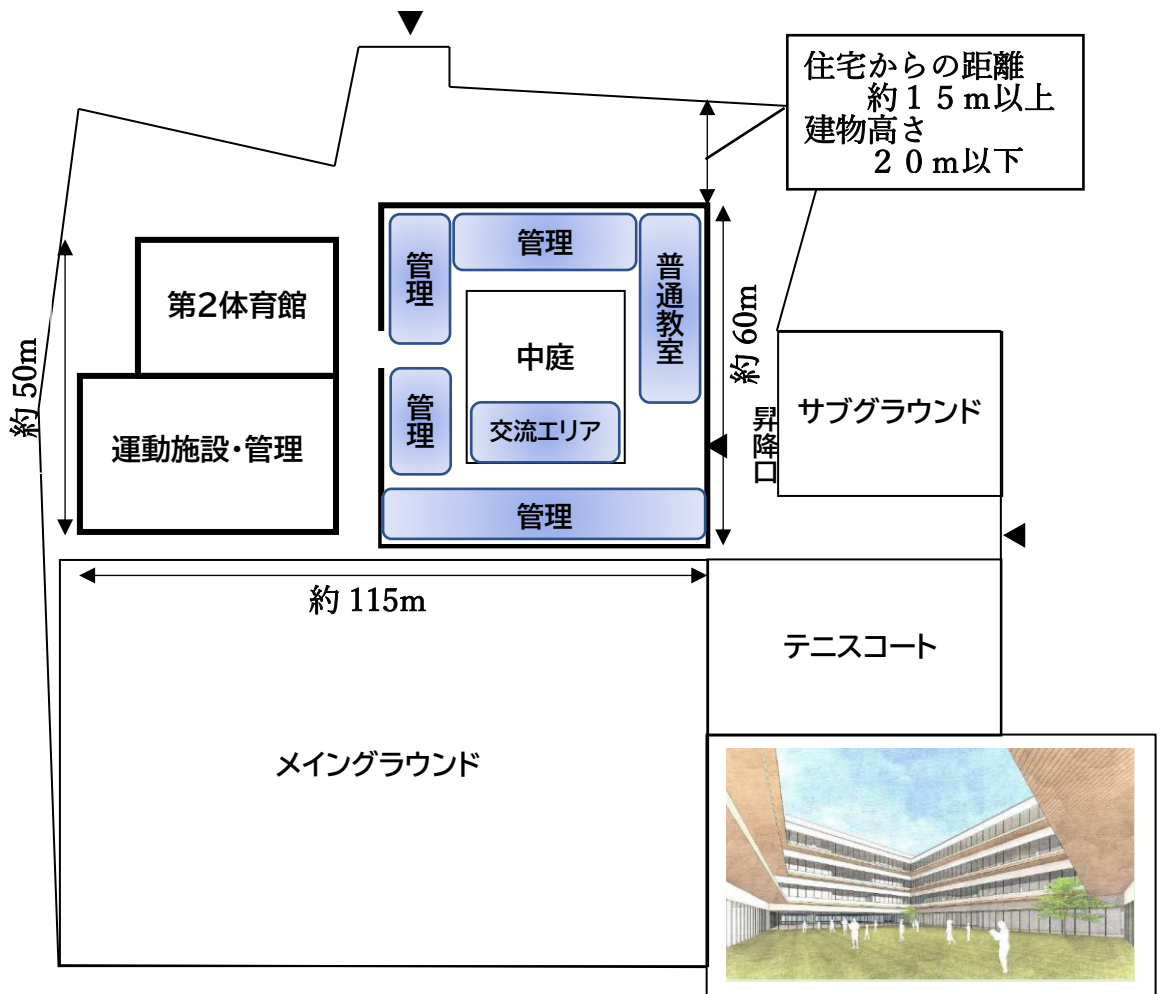
A案 <異学年の一体感を育む回廊型案>



イメージ図

回遊性のある動線により異学年の一体感・交流を促進する空間構成

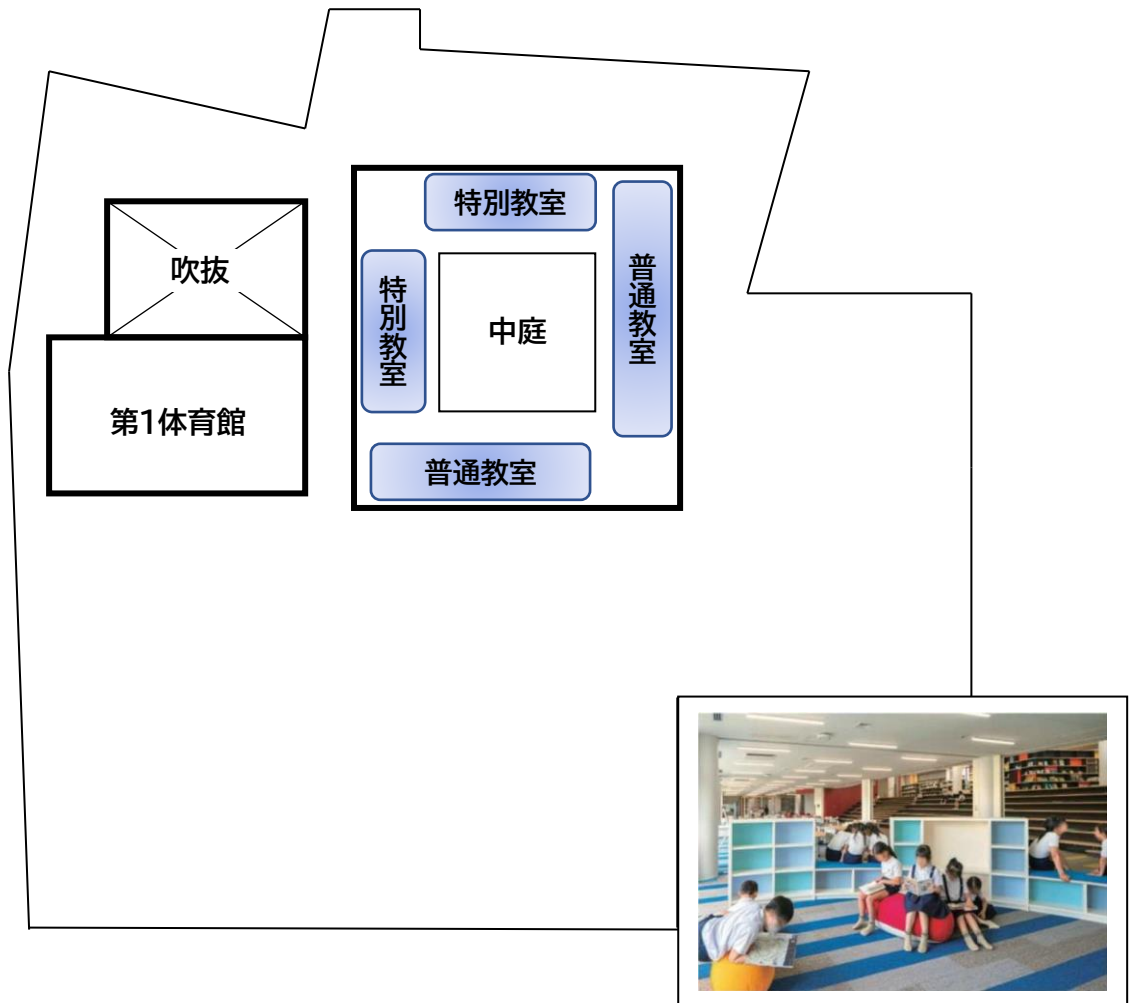
1階



中庭 イメージ

- ・中庭及び中庭と一体利用可能な交流エリアが異学年交流の場となるほか、イベントや屋外学習等、柔軟で創造的な学びに対応した活動が可能。
- ・異学年の活動の様子が校舎全体から見渡せる構造であることにより、子どもたちが異学年や多様な学びへの関心を抱き、成長と共に関係世界を広げていくことができる探究心を育む。

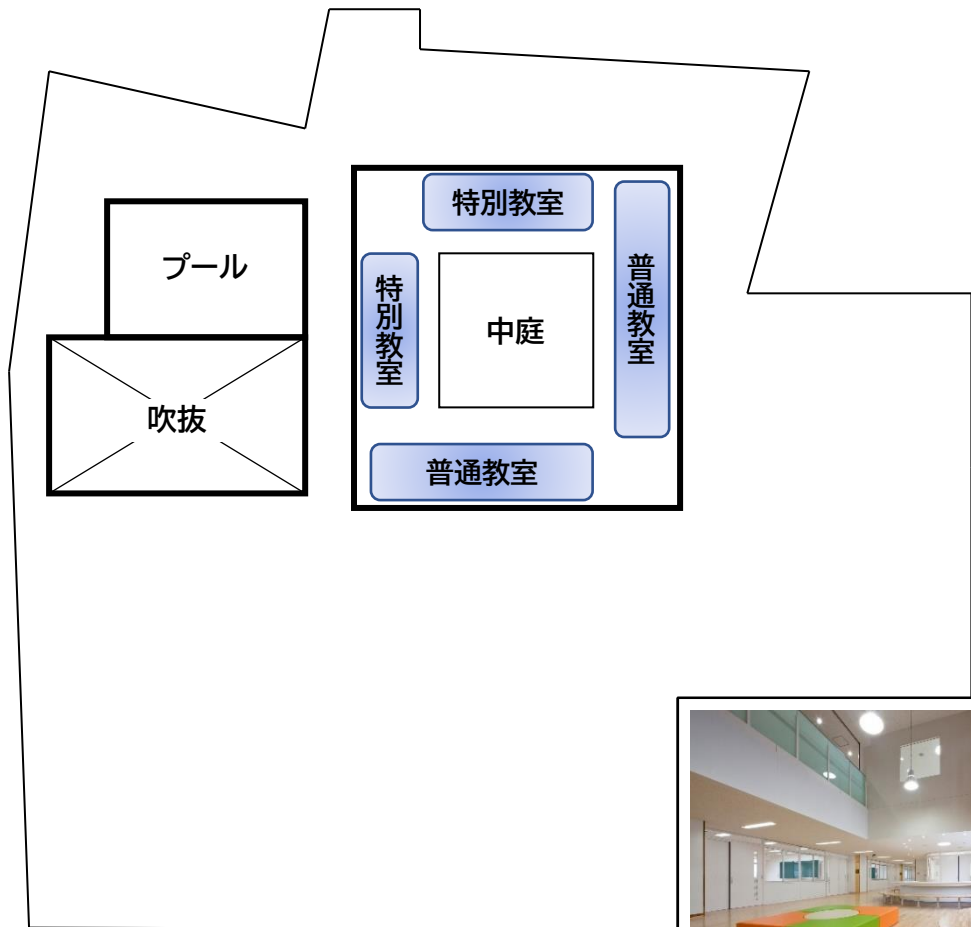
2階



メディアセンター イメージ

- ・タブレット端末を利用した学習に対応するため、図書室の機能の他、本、ICT 機器を使い分けながら多様な調べもの学習が可能で、探究・協働・発表等多様な学びと異学年の交流を促すメディアセンターを整備。
- ・交流スペース、メディアセンター等を児童生徒の動線の重なるポイントに配置することで、異学年の多様な活動の様子が感じられ、一体感を高める空間構成とする。

3階



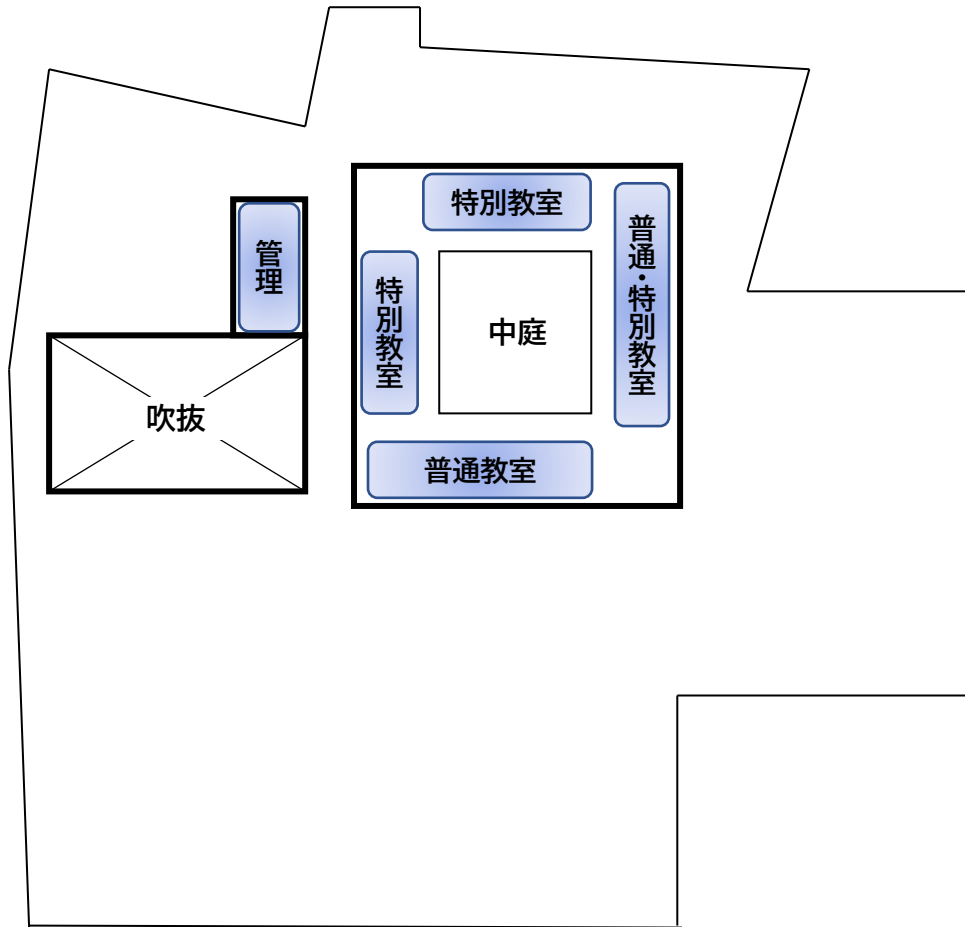
・児童生徒が気軽に教師と相談でき、教師、児童のつながりを生む教師ステーションや多様な学び、異学年交流の場として柔軟に活用できる交流スペースを配置。

・効率的でコンパクトな動線により、小中共用となる特別教室へ移動しやすい配置。



交流スペース イメージ

4階



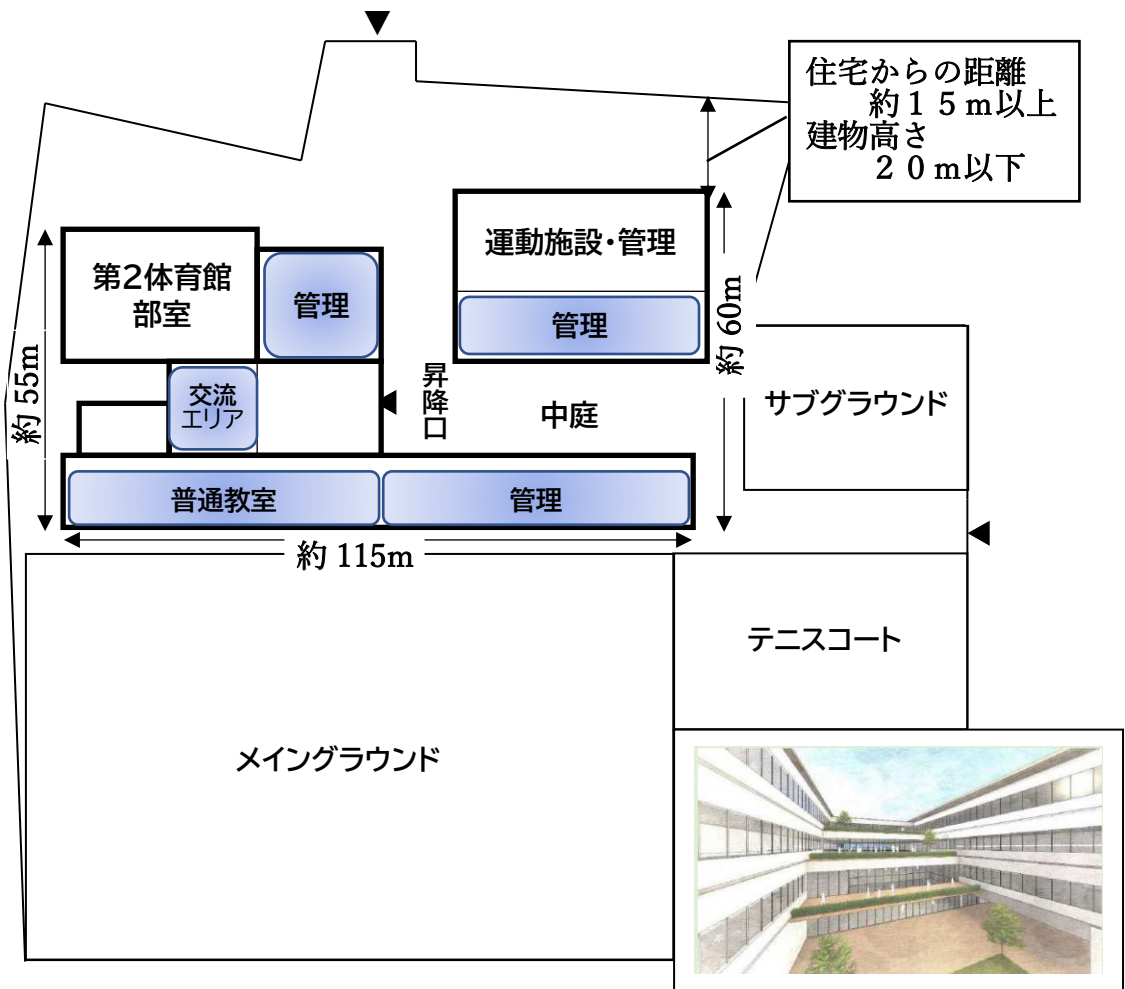
B案 <校舎棟を南側に配置した従来型案>



イメージ図

校舎棟を南側に一列に配置した視認性の高い従来型の空間構成

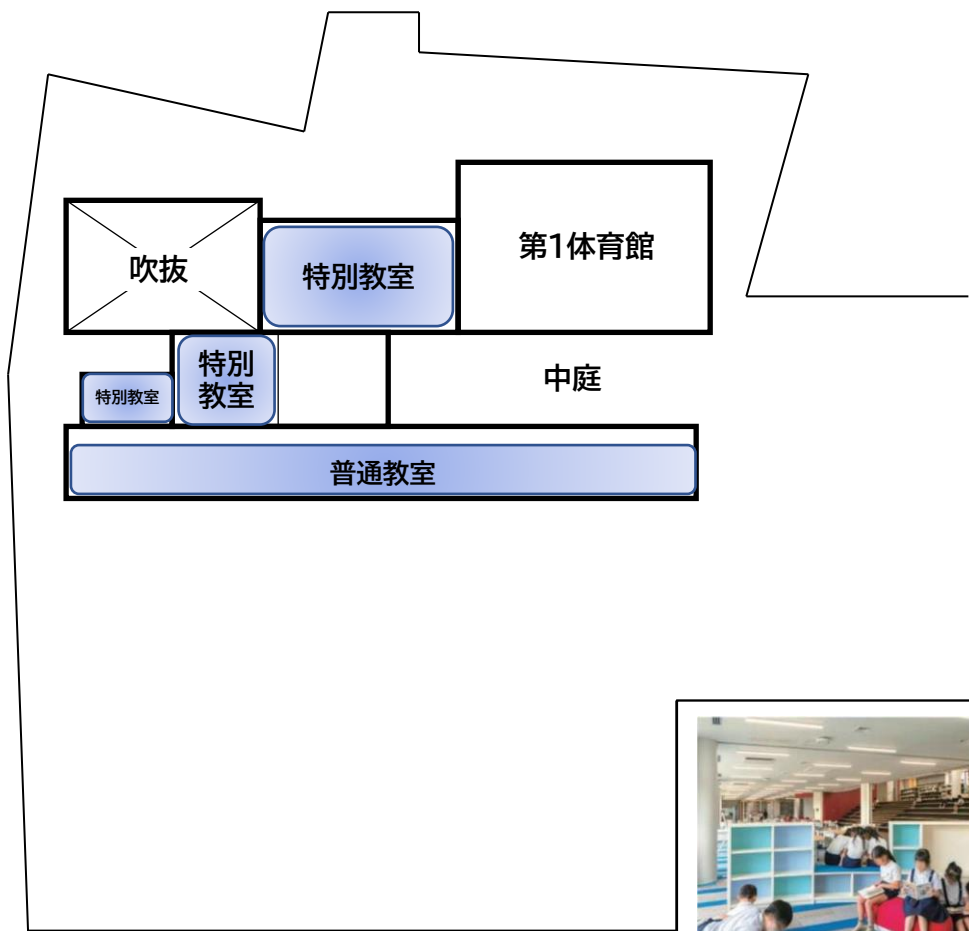
1階



中庭イメージ

- ・交流エリアが異学年交流の場となる。
- ・普通教室を南側に一直線に配置した視認性の高い構造であることにより、生徒指導が行いやすい。
- ・普通教室等が南面しているため、日差しを直接取り込むことができる。

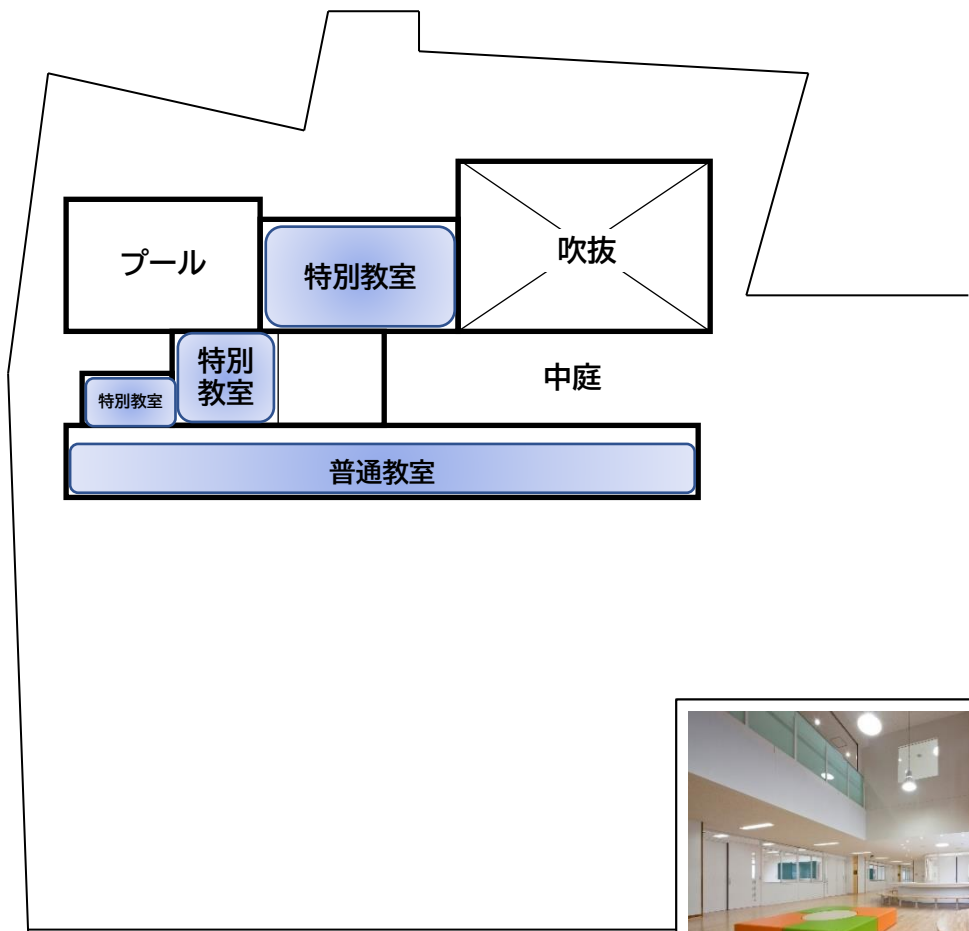
2階



メディアセンター イメージ

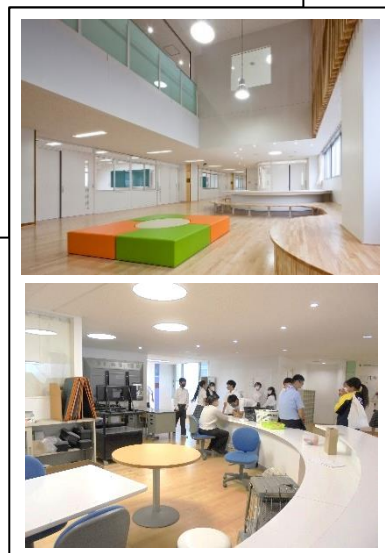
- ・タブレット端末を利用した学習に対応するため、図書室の機能の他、本、ICT 機器を使い分けながら多様な調べもの学習が可能で、探究・協働・発表等多様な学びと異学年の交流を促すメディアセンターを整備。
- ・交流スペース、メディアセンター等を児童生徒の動線の重なるポイントに配置することで、異学年の多様な活動の様子が感じられ、一体感を高める空間構成とする。

3階



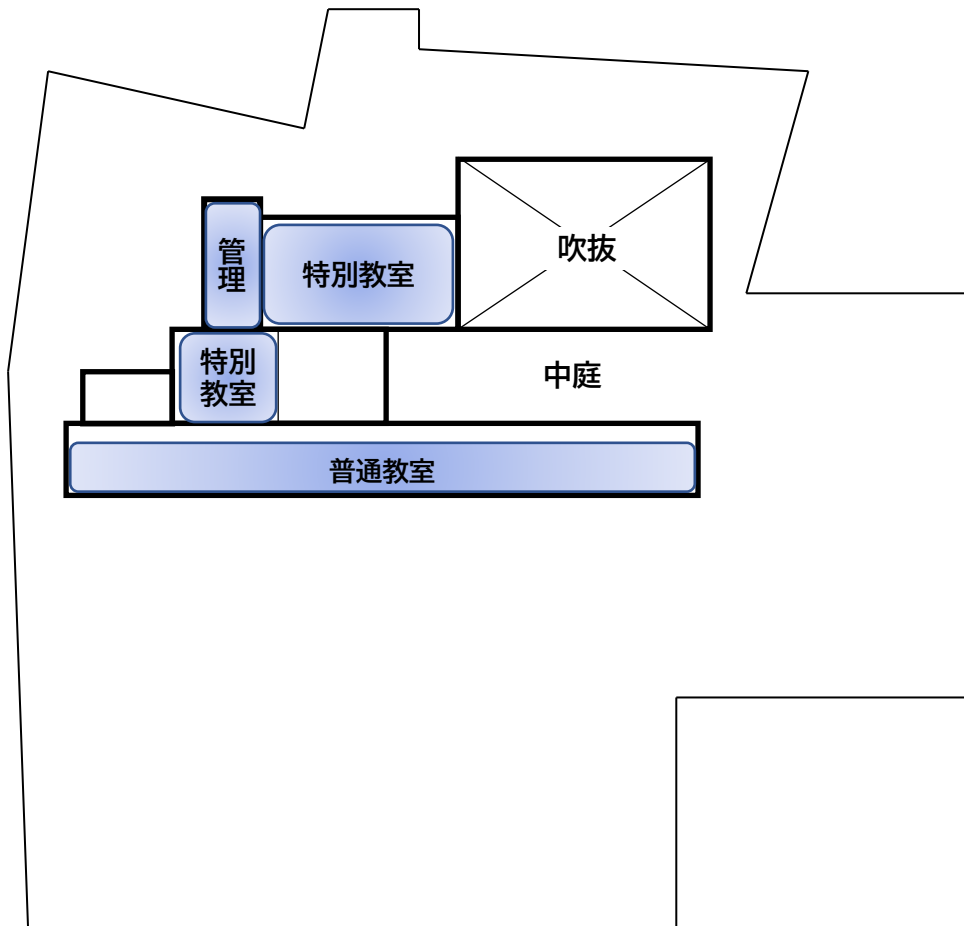
・児童生徒が気軽に教師と相談でき、教師、児童のつながりを生む教師ステーションや多様な学び、異学年交流の場として柔軟に活用できる交流スペースを2・3・4Fに配置。

・特別教室をまとめて配置したわかりやすい動線。



交流スペース イメージ

4階



	参加人数	主な意見概要
5/30 西小倉 小学校	26名	<ul style="list-style-type: none"> ・昇降口の広さの確保 ・グラウンドの広さの確保、第2グラウンドの確保、放課後の遊び場が必要、西小倉小学校・南小倉小学校のグラウンドの活用 ・西消防署の移転 ・西小倉中学校に隣接する公園の取り込みはできないのか ・自校に給食室を配置 ・西小倉中学校敷地では狭い ・西小倉中学校の入り口が狭い ・北小倉小学校区からは遠くなるので安全面の心配 ・避難所の必要性 ・新校舎と民家との距離確保 ・回廊型校舎の場合に、中庭に光は射すのか ・安全面を優先した校舎 ・市教委による説明会実施が必要 <p style="text-align: right;">等</p>
6/1 南小倉 小学校	33名	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンドが狭い、放課後の遊び場が必要、南小倉小学校のグラウンドの活用、グラウンドは3つ必要 ・予算を使い、良い学校にしてもらいたい ・自校に給食室を配置 ・昔の校舎の中庭は暗かった ・教員の体制確保 ・子が増えた時にも、教室が足りるように ・教室の広さを確保 ・ホワイトボードの活用など、いろいろな学校を見て検討を ・一貫校にするメリットはあるのか（宇治黄檗学園の状況） ・今後の説明会の必要性 ・説明会の案内が遅かった、広く周知を <p style="text-align: right;">等</p>
6/3 北小倉 小学校	14名	<ul style="list-style-type: none"> ・どのコンセプトも素晴らしい、是非実現を ・北小倉小学校からは遠く、登下校に時間かかる、安全対策が必要 ・開校場所決定までのプロセスを知りたい ・分かりやすい教室配置が良い ・見た目ではなく子ども目線で設計してほしい ・プールをなくしていくということは検討しないのか ・校舎は安全や使いやすさ、採光を大事に設計してほしい ・3小1中の一貫校から北小倉が分離可能か ・自校に給食室を配置 ・基本計画や今後のスケジュール等、市が説明会を開いてほしい ・避難所等、防災について考えているのか <p style="text-align: right;">等</p>

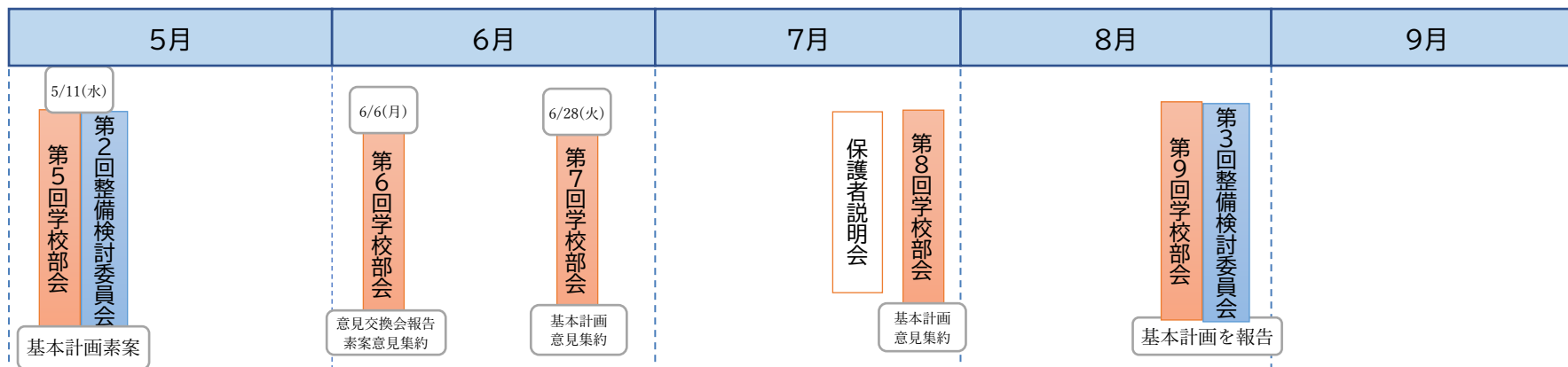
主な意見概要

- ・グラウンドの広さの確保、第2グラウンドの確保、放課後の遊び場が必要、西小倉小学校・南小倉小学校のグラウンドの活用
- ・西消防署の移転
- ・自校に給食室を配置し、小中学生全員が食べられるように
- ・仮にセンター方式になれば他の小学生と同じレベルの給食が提供できないのではないかと。
- ・食育の重要性
- ・北小倉小学校区からは遠くなるので安全面の心配
- ・避難所の必要性
- ・いい学校（日本一の学校）にしてほしい
- ・メンテナンスしやすい施設
- ・採光、風通しはコンセプトに適合するのにか
- ・安全面を優先した校舎
- ・宇治黄檗学園の交流ホールと同様の設備の配置
- ・図書室（メディアセンター）の必要性【蔵書数・広さ・動線・照明等】
- ・特別教室は小学校と中学校で2つ必要
- ・宇治黄檗学園を含め、他の小中一貫校を参考に
- ・小中一貫校のメリット・デメリット
- ・入学式や卒業式はどうなるのにか
- ・地域の要となる学校にしてほしい
- ・北側住民への配慮
- ・説明会の実施時間帯、周知期間への配慮
- ・市教委による説明会実施が必要
- ・今後の見通しが分かる説明会が必要

等

【当面のスケジュール（学校部会）】（予定）

第7回 西小倉地域小中一貫校
整備検討委員会【学校部会】資料④



【今後のスケジュール（学校部会）】（予定）

